

Game Report

開催場所：玉名市総合体育館

試合区分：第 22 回全九州大学春季バスケットボール選手権大会 女子準決勝

試合期日：2017 年 5 月 20 日(土)

試合時間：15:00～

主審：仲間 芳幸

副審：上山 正智

日本経済大学	7 6 ○	20	—1st—	15	6 5 ●	西南女学院大学
		12	—2nd—	10		
		24	—3rd—	20		
		20	—4th—	20		

第 1 ピリオド

日経大は、#00 マレムのジャンプシュートで幸先よくスタートする。また、#35 岡田のスピードあるドライブから、合わせのシュートで得点を重ねていく。対する西女大は、#8 山本の 3 P シュート、#21 ニノ宮のポストプレイで日経大にリードを許さない。しかし終盤、日経大 #33 江口が 3 P シュートを連続で決め、流れを掴み、20-15、日経大が 5 点のリードで第 1 ピリオドを終える。

第 2 ピリオド

追いつきたい西女大は、#16 小田原、#17 眞鍋が連続してシュートを決め、巻き返しをはかる。日経大はたまらずタイムアウトを請求。これが功を奏し、#13 喜多、#5 後藤が、立て続けに 3 P シュートを決め、流れを引き戻す。両チームとも激しいディフェンスで、互いの得点を許さない時間が続く。その中、西女大は #20 濱口の 3 P シュートで、点差を詰め、32-25、日経大 7 点リードで前半を折り返す。

第 3 ピリオド

リードを広げたい日経大は、#5 後藤を軸に、合わせのプレイでオフェンスを展開する。#00 マレム、#77 清本が、連続でシュートを決め、徐々に試合のリズムを掴んでいく。対する西女大は、#21 ニノ宮の 3 P シュート、#12 津乗のバスケットカウントで、日経大に食らいつく。しかし、日経大の勢いは止まらず、#13 喜多が、またも 3 P シュートを決めリードを広げる。西女大は、#8 山本が、2 本連続で 3 P シュートを決めるも、ゴール下のシュートが決まらず点差が縮まらない。56-45 で、日経大が 11 点にリードを広げ、最終ピリオドへ。

第 4 ピリオド

点差を詰めたい西女大は、ディフェンスで粘りを見せ、#20 濱口を中心に得点を重ね、追い付こうとする。しかし、日経大 #35 岡田が、1 対 1 から連続でシュートを決め、第 4 ピリオドだけで 13 点の活躍をみせる。終盤、西女大 #17 眞鍋が、3 P シュートを沈め意地を見せるも、点差は縮まらない。高さとスピードを生かし、終始攻め続けた日経大が、76-65 で勝利し、決勝戦へと駒を進めた。